

1. 評価結果概要表

【評価実施概要】

事業所番号	270301468		
法人名	社会福祉法人白銀会		
事業所名	グループホームひかる		
所在地 (電話番号)	〒031-0821 青森県八戸市白銀5丁目8番地の2 (電話) 0178-32-1755		
評価機関名	社団法人青森県老人福祉協会		
所在地	〒030-0822 青森県青森市中央3丁目20-30 県民福祉プラザ3階		
訪問調査日	平成20年8月1日	評価確定日	平成20年9月29日

【情報提供票より】(平成 20年 7月 1日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和(平成) 15年 3月 1日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9 人
職員数	8 人	常勤	7人, 非常勤 1人, 常勤換算 8.0人

(2) 建物概要

建物構造	木造 造り		
	2 階建ての 1 階 ~ 2 階部分		

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	30,000 円	その他の経費(月額)	8,000 円
敷金	有() 円 (無)		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有() 円 (無)	有りの場合 償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
または1日当たり 900 円			

(4) 利用者の概要(7月 1日現在)

利用者人数	9 名	男性	1 名	女性	8 名
要介護1	0 名	要介護2	1 名		
要介護3	5 名	要介護4	3 名		
要介護5	0 名	要支援2	0 名		
年齢	平均 84.7 歳	最低	74 歳	最高	95 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	きむらクリニック
---------	----------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

地域の中に溶け込んでいる建物で、外観からも地域に根ざしたサービスの提供に取り組んでいる姿がうかがえる。利用者を第一と考え、利用者個人をより深く理解しようと工夫している。地域に密着した、家庭的な雰囲気の中で利用者が生活できるようにと努力している。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目	<p>前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>前回評価ではいくつか改善点が挙げられていた。外部評価結果は、ミーティングで報告され、改善に向けて具体案等の検討や実践につなげるための努力をしている。具体的には、地域の協会に加入し、協会主催の研修会で他事業所と協働で研修議題に取り組むなどの交流を通じてサービスの質を向上させる取り組みを行っている。</p>
	<p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>地域密着型サービスとしてのグループホーム全体の理念を念頭に、職員個々が日常の介護の中で重点的に取り組んでいる。外部評価等をケアの見直しの機会として活用し、サービスの向上に繋がるよう努力している。</p>
重点項目	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)</p> <p>家族や地域の方々に運営推進会議への参加を積極的に呼びかけ、会議の中でも行事や避難訓練等への参加を求めている。意見のあった事項については、改善に向け職員全体で取り組んでいる。</p>
	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部10, 11)</p> <p>定期的に家族に連絡する体制が整っており、利用者の暮らしぶり等の報告や行事の連絡を行っている。また職員は、家族からの意見を引き出そうという意識を持って対応している。意見があった場合には改善に向けた取組みがなされている。</p>
重点項目	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>買い物、散歩、地域の行事に出かけて職員と地域の方々の関係だけでなく、利用者や地域の方々との関係作りにも意識を置いた取組みがされている。</p>

2. 評価結果(詳細)

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
・理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	地域密着型サービスの役割を踏まえ、地域住民への働きかけを行いながら、「そのままを受け入れ支えていく、側にそっと寄り添う温かく優しいケアを目指します」という事業所独自の理念をつくりあげている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	毎朝の唱和を行うなど、全職員が地域密着型サービスの役割を理解し、理念の実践に向けて管理者・職員共に同じ目標に向かって日々取り組んでいる。		
2. 地域との支えあい					
3	4	隣近所、地域とのつきあい及び地域貢献 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけあったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるよう努めている。事業所は地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。また、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる。担当職員はキャラバンメイトになるなど、地域の認知症普及活動に参加している。	事業所玄関脇に椅子・テーブル等が設置されており、地域住民が気軽に利用し、入居者と一緒にお茶を楽しむ機会となっている。地域行事へ積極的に参加し、事業所が地域の中で孤立しないように取り組んでおり、認知症普及活動にもつながっている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	5	<p>評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>	<p>自己評価は全職員で行い、全体を見直す良い機会となっている。又、外部評価結果は、ミーティングで報告され、改善に向けて具体案等の検討や実践につなげるための努力をしている。</p>		
5	6	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>運営推進会議では検討事項・懸案事項・外部評価結果等、その経過などが報告されており、一つひとつ積み上げていくように努めている。また、現在取り組んでいる内容についても報告し、意見をもらうようにしている。</p>		
6	7	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、運営や現場の実情等を積極的に伝える機会を作り、考え方や運営の実態を共有しながら、直面している運営やサービスの課題解決に向けて協議し、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>疑問や判断に困った事などを市担当者へ気軽に相談できる関係ができています。</p>		
7	8	<p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p>	<p>研修会などへ参加し、理解を深めている。実際に地域福祉権利擁護利用に向けて関係者と話し合いながら取り組んだこともある。</p>		
8	9	<p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>積極的に外部研修会等に参加しており、研修内容等を定期開催されているミーティング等で報告し、全職員へ高齢者虐待防止に関する理解浸透や遵守に向けて取り組んでいる。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制					
9	10	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>契約時にはケア内容や退居を含めた事業所の対応可能な範囲について、例等を交えながら説明している。又、契約後等、随時必要に応じて説明を行っている。</p>		
10	12	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている</p>	<p>毎月、金銭管理状況・健康状態・生活状況・行事案内などを写真などを交えながら解りやすく文書で報告している。</p>		
11	13	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>運営推進会議に家族・入居者・町内会長等が参加し、その中で広く意見・要望等を伺っている。他にも面会時等で職員から進んで話しかけ、状況を伝えながら意見をいただけるように配慮している。又、その意見等について会議の中で改善・経過報告され、出された意見等は日々のケアに活かしている。</p>		
12	16	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>定期的に法人内で異動があるが、法人内の事業所間で1～2ヶ月間の交換研修を定期的に行っており、異動があっても入居者が顔を覚えているなど、異動による影響が最小限になっている。又、新規採用時に認知症者にとって馴染みの関係の大切さを説明し、離職者を最小限に抑える努力をしている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
13	17	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>職員育成のため、研修計画を立て実施している。又、職員が希望する外部研修に参加できるように配慮されている。職員個人の能力に合わせた育成に取り組んでいる。</p>		
14	18	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>地域の協会に加入し、協会主催の研修会で他事業所と協働で研修議題に取り組むなどの交流を通じてサービスの質を向上させる取り組みを行っている。</p>		
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
15	23	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>馴染みの関係が築けるように入居者の状態に応じて勤務変更するなど、臨機応変に対応しており、入居者や家族が安心して利用できるように工夫している。</p>		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
16	24	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>利用者は人生の先輩であるという考えを職員が共有しており、調理法など利用者から教えてもらう場面がある。また、そういった場面を多くもてるように工夫・声がけに配慮している。</p>		


外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
・その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
17	30	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>アセスメントツールを利用しながら入居者との関わりの中で言葉や表情・行動等を観察し、その真意を推測し、本人が望んでいるケアを提供できるように取り組んでいる。</p>		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
18	33	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>日常生活基本介護は個人別介護マニュアルとして実施されており、その他について個人記録にある毎日の気づきを基に家族等に情報をもらいながら介護計画を作成している。</p>		
19	34	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>定期的に見直しがされており、目標達成した後も必要な計画については個別介護マニュアルに追加している。又、入居者の状況変化に応じて随時見直し、新たに追加がある場合は計画書に手書きで追加している。</p>		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
20	36	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>入居者本人、家族の状況に応じて、通院や送迎等必要な支援は柔軟に対応し、個々の満足を高めるように努力している。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
21	40	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	事業所の協力医の他に、入居前からのかかりつけ医での医療を受けられるように家族と相談しながら受診介助等行っている。又、往診に来てもらうケースもあり、複数の医療機関と関係を密に結んでいる。		
22	44	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	契約時に例を基に説明を行っている。往診に来てくれる医師は事業所では対応可能な範囲を理解しており、状況に応じて事業所・家族・医師等と話し合い、対応している。		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
23	47	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	入居者一人ひとりの尊厳を考慮し、声かけ等の配慮がされており、個人情報保護法の理解、秘密保持に努めている。		
24	49	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	入居者一人ひとりの状態や希望を考慮し、買い物や散髪、散歩等に出かけるなど、柔軟に対応している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
25	51	<p>食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、可能な場合は利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>調理・盛り付けなど入居者と一緒に行い、職員と入居者が同じテーブルで同じ食事を一緒に食べるなど、楽しめるような雰囲気作りに努めている。</p>		
26	54	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>	<p>入浴希望を取り、日・時間等入居者の希望に添った入浴ができるように勤務時間の変更等を行っており、一人ひとりの気持ち・生活習慣に沿った援助が行われている。</p>		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
27	56	<p>役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>	<p>入居者が出来そうなことをお願いするなど、得意分野で一人ひとりが力を発揮できるような場面作りに努めている。又、牛乳パックによるソファ作りなど、楽しみながら力が発揮できるように検討している。</p>		
28	58	<p>日常的な外出支援</p> <p>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している</p>	<p>玄関脇に椅子・テーブルが設置されており、天気・入居者本人の気分や希望に応じて、季節を肌で感じてもらう、心身の活性につながるよう日常的に散歩や買い物、ドライブ等に出かけている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4)安心と安全を支える支援					
29	62	身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	高齢者の権利擁護や身体拘束について話し合い、外部研修・内部研修を通じて共通認識を図るよう努めている。		
30	63	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	夜間帯以外は玄関・窓など開放しており、職員の見守りを徹底し、また、一人ひとりのその日の気分や状態をきめ細かく捉えることで、自由な暮らしを支援している。		
31	68	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	入居者への影響を考慮し、消防車等の要請は行っていないが、入居者と一緒に年2回避難訓練を行っている。代わりに同法人で行う避難・消火訓練にも参加している。地域の協力体制については運営推進会議で協力を呼びかけ合同での訓練実施を働きかけている。		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
32	74	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	法人内他事業所の栄養士が立てた献立を調理しており、バランスの取れた献立になっている。又、一人ひとりの食事・水分摂取量を毎日チェック、記録し、職員が情報を共有している。		
33	75	感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	感染症に関して情報収集を行い、マニュアルを作り、早期発見、早期対応に努めている。又、インフルエンザ予防接種を受けている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<p>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</p>					
<p>(1) 居心地のよい環境づくり</p>					
34	78	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>廊下や台所などには、季節を感じる事が出来るようにカレンダー設置や装飾がされており、廊下には手作りソファを配置し、調理する音や匂いを感じることが出来、自分なりに活動しやすいような工夫がされている。</p>		
35	80	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>写真や使い慣れた日常生活用品等を使用し、入居者にとって居心地よく生活できるように配慮されている。</p>		

 は、重点項目。